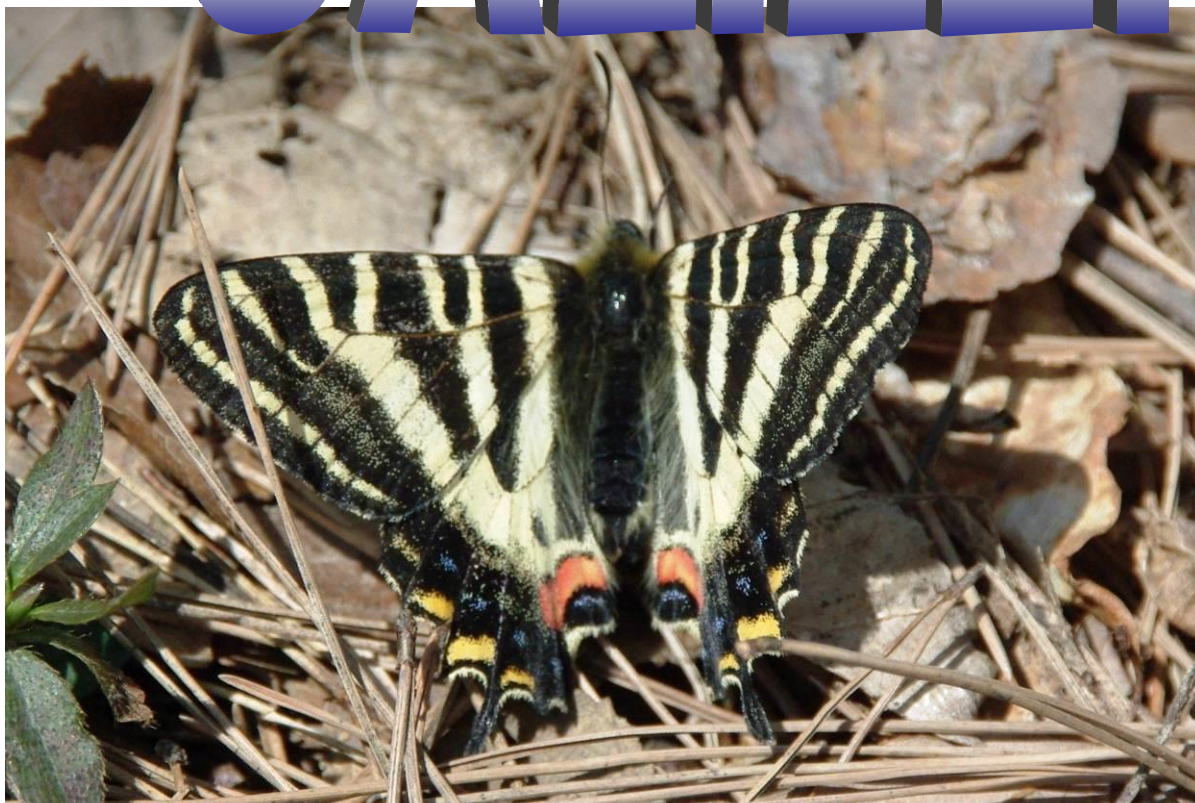




教育センター・育成センター所報

GALILEI



ギフチョウ

CONTENTS

- 今月の巻頭言 P 1
 - ★言いつ放し
 - 教育センター運営委員
 - 柏崎市立田尻小学校長 中村 芳郎
- 教育センターだより P 2
 - ★アクセス（教育研究班） P 2
 - ★プロジェクト K（科学技術教育センター） P 6
 - ★心の窓（教育相談班） P 10
- 6月の行事予定表 P 12
- 所員随想「つれづれ」 P 12
 - ★～子どもの記憶の不思議～ 教育相談班係長 小林 東
- 青少年のための科学の祭典ポスター、教科書展示会ポスター

平成25年5月号

柏崎市立教育センター 柏崎市青少年育成センター

言いつ放し

教育センター運営委員
柏崎市立田尻小学校長 中村 芳郎



ガリレイの原稿を依頼されこの数週間、サザエさん家の隣の作家「伊佐坂先生」の原稿締め切りに追われる辛さを味わわせてもらった（感謝）。テーマは自由、これがなかなか作家には辛い、ガリレオなるものにふさわしい内容にしようと、あちこちネタ探しをするが見つからない。周りの出来事に如何に無関心であったか、自然は感じてはいるとは思いますが感動したことを文章に表せない。子供の作文、自分の考えを書くことの辛さを共感させてもらった。締め切りが来ているので、言いつ放しで御勘弁願いたい。

それでは、教育者らしく学校教育に関することを少々書かせてもらう。

某新聞社の全国世論調査によると、政府が検討する「学校週6日制」や道徳の教科化、教育委員会制度の見直しが多くの人々の支持を得ていることがわかったと報じている。

土曜に授業を行う「学校週6日制」の復活の支持者の多くは、新潟県教育委員会や柏崎市教育委員会が最重要課題としている「学力の向上」が期待できるとしている。2002年4月から完全実施された週5日制、いわゆる「ゆとり教育」が学力低下を招いたという意識が強いからだと分析している。確かに「脱ゆとり」を目指した学習指導要領では過密な授業スケジュールで子供も教師もアップアップしている。精神論で、指導時間を作ることは難しいのが現状である。勤務時間内に個別指導のできる時間が欲しい。このまま行ってもまた「真の学力とは」の議論が持ち上がるのではないかと不安である。現状で改革するところはないのだろうか。

フィンランドの教育制度についての記事を目にしたことがある。社会的背景は別にして、子供たちが「学ぶことの楽しさや興味関心」をふくらませてやる「やる気と動機」の大切さ、そのためには、教師自身がじっくりと楽しみながら「楽しく充実した授業を構想し、組み立てていく」ことが大切とっている。また、「具体的な生活や経験と結びついていく学習」を授業の中で創っていくことも大切とも言っている。

制度改革を叫んでもいいが、現場の教員は、週5日制でも個人格差を作らない指導を行えるよう、教材研究の時間が欲しい。

次に、小・中学校の教育内容で、特に力を入れてほしいと思うことは？の問いでは、一位に、他人への思いやりや道徳心・公共心など心の教育。二位に、社会的生活に必要な常識やマナーを身に付けることとあった。こんなことでいいのだろうか。これらは、家庭や地域で身に付けて行くべきことと思うが・・・。

「振り込め詐欺」の呼び名が変わった。最近では偽質屋が出現し、不当な高利貸を行っているという。「親の背中を見て子は育つ」というが、我が子に詐欺のテクニックを教えるのだろうか。そんな子を育てた親の顔が見てみたい。

■ 実施研修講座を振り返って

危機感をもった対応を！

◆5/7（火）「さわやか！学校プロジェクト」説明会

担当 学校教育課 上野忠英指導主事

このプロジェクトは「新たな不登校を生まない」という視点から生徒指導上の諸問題の解決に向け、小中が連携して、子どもがより一層、人とかかわる喜びを味わったりルール必要性を体験できるようにするに取組です。（冒頭の説明スライドより）

そのためには分かる授業づくりや居場所のある学級経営の他、不登校児童生徒への初期対応準備（個票の作成）、早期発見（子どもとともに 1.2.3 運動）、早期対応（チームで対応 STOP30）等が重要であるという説明がありました（詳細は当日資料参照）

今後、各学校で取組が推進される中で、効果のある取組を紹介していきます。



取組の説明をする担当の上野指導主事

将来の幸せを見据えて…

～在籍児童・生徒の進路指導について～

◆5/8（水）特別支援学級経営の基礎・基本①

講師 学校教育課 今井由実子指導主事

この講座は年4回シリーズの第1回目の講座で、特別支援学級に在籍する児童生徒一人一人に応じた進路指導を確実に行うことが出来るよう、事例を取り上げながらの内容でした。

そこでは、早い時期から将来を見据え、限られた時間の中で「何を学び、どのような力を身に付けるのか」「いつ、だれが、何をどのように支援すれば良いのか」を本人、保護者と一緒に考えていくことの大切さに触れていました。参加者からは「…自分が思った以上に情報をもっていないことに気付きました」「わかりやすい内容で2つの高等部の違いも認識できました」等、子どもの今後の生き方を支援するために有益な研修だったことがうかがえます。



資料の説明をする講師の今井指導主事

カリキュラム作成が目的でなく、あくまでもツールとしての活用を

◆5/10（金）「柏崎カリキュラム」説明会

担当 学校教育課 竹田充指導主事

小中一貫教育「学びすっきりプロジェクト」の一つである「柏崎カリキュラム（エクセル表）」についての説明会でした。そこでは、まず、カリキュラムを作ることが目的ではないことを確認しました。この表は教育センターの田村実情報教育主事が、使う先生の立場になって開発し、市教委で標準的なカリキュラムを打ち込んであります。ボタン一つで日付バーや、学年別から教科別の表に移行する機能もあり、内容の加除訂正が簡単にできる利点もあります。これを、教育活動の計画や振り返り、学びのつながりの把握・分析、他学年他校種への引き継ぎ等に思う存分活用してください。

当日は算数、数学での活用方法について上越教育大学の中野博幸准教授から紹介していただいたり、その他の教科、領域での使用例を示したりしました。今後、各学校での活用アイデアをお聞かせください。



使い方の説明をする担当の竹田指導主事

「自分が今、どんな階段を上るべきなのか、はっきりしてきました！」

◆5/14（火） 若手サポート研修発会式

15名の先生方が希望してスタートした若手サポート研修の発会式では、自分が本当に取り組みたいことについて、構想を十分に練る作業を行いました。そこでは指導主事とともにほぼマンツーマンでの対話となされ、熱心な質疑応答が繰り返されました。研鑽を進める先生方の姿に頼もしさを感じる時間でした。

参加者の感想には、標記タイトルの他、「よしっ、やるぞー、という引き締まる気持ちになりました」「指導主事先生とのマンツーマンの研修を通して指導力を向上させていきます」等、意欲的に授業改善に向かっていく姿勢が強く感じられる記述が多くありました。



指導主事らと構想を練る受講の先生方

「すっきりとした学び」は、「すっきりとした授業や校内研修」から

◆5/15（水）学びすっきりプロジェクト（研究主任会）

この取り組みは、小中一貫教育・柏崎方式のプロジェクトの一つ「学びすっきりプロジェクト」（研究主任会）として開催しました。

ここでの学びが「すっきり」とは、「学んだことが明確で、頭の中がすっきりとする。これまでの学びや今後の学びとのつながりもわかり、次への意欲もわいている。（何を学んだか分からない、もやもやしている状態ではない）」という捉えです。

これに向け、校内研修や授業づくりについても、テーマやねらい等、行うことすべてに対して「すっきり」化を図ります。そして普段から継続的に取り組むことができ、手応えも感じることができるようにするための視点を紹介しました。

後半は、中越教育事務所学校支援第2課 大津政好指導主事より Web「配信集計システムの活用」についてご指導いただきました。「授業改善は自己改革」というお話があり、「繰り返して覚える」から「印象深く学ばせる」、ねらいも「問題解決」から「それを通して身に付ける力」に変革していくことの重要性を指摘されていました。



情報交換を行う研究主任の先生方

まずは、学級に存在する「階級」をリセットして…

◆5/17（金）ルールとふれあいのある学級づくり（さわやか！学校プロジェクト）

講師 都留文科大学 地域交流研究センター 特任教授 品田 笑子 様

品田先生は、この講座の冒頭で、「学級に存在する階級をリセットして、すべての子が安心して過ごせる空間を作らなければ集団の育成は図れない」と述べられ、学級づくりの根幹に触れられました。その後「学級づくりのゼロ段階」（川村茂雄著）に基づき、年度初めの「混沌・緊張期」「小集団成立期」「学級成立期」等、段階的に分けた学級づくりの内容をグルーピングの適切な人数とともに示していただき、その後のエンカウンターの実習に繋がりました。

参加者からは「学級に多くの課題が生じてきているこの時期、根拠に基づいた様々な改善方法を知ることができ本当にタイムリーでした」「エンカウンターをイベントではなく日常の中に組み入れることの大切さがわかりました」等、望ましい学級集団作りのための理論と方法の両面を学んだ研修であったことがうかがえます。



研修を進める品田笑子特任教授

■ 柏崎教育情報支援システム/コンテンツサーバ情報

資料を登録しました

◆コンテンツサーバ

実施日	講座名／資料名
5/8	スクールオフィス指導要録様式1作成講習 N022_小学校成績管理指導要録様式1作成編.pdf（第4版） N026_中学校成績管理指導要録様式1作成編.pdf（第4版）
5/9	スクールオフィス保健管理講習 N012_保健管理システムの利用（準備編）.pdf（第4版） N013_保健管理システムの利用（検診編）.pdf（第4版） N014_保健管理システムの利用（記録編）.pdf（第4版）
5/15	スクールオフィス管理者講習 N06_管理者講習.pdf（第4版） スクールオフィス管理者の主な業務と関連情報.pdf スクールオフィスのQAキーワードマップ.pdf
5/16	スクールオフィス利用者講習 N01_利用環境の設定.docx（第3版） N02_日常的なグループウェアの利用.docx（第3版） N05_利用者講習.docx（第4版）

◆コンテンツサーバ(教育委員会資料)

登録日	資料名
4/30	ALT News Letter 第18号
5/9	「学びすっきりプロジェクト」柏崎カリキュラム用作業シート カリキュラム表_ver1.xlsm

■ 情報関連講習会のご案内

6月に実施される講習会

◆H25.06.04(火) セキュリティ対策入門

柏崎市教育委員会の情報セキュリティポリシーの概要、脆弱性・ウィルス対策など、必須のセキュリティ対策の具体的な手順と、USBメモリ型暗号化キー(FOGOS)のインストールから日常の利用手順までを学習します。

◆H25.06.06(木) 電子メール入門

スクールオフィスのグループウェア上でのメールの設定と利用を中心に、電子メールの設定、添付ファイルの扱い、マナーについて学習します。キーワードやメールアドレスで受信したメールを振り分けるなどの便利な使い方についても紹介します。



◆H25.06.12(水) スクールオフィス名簿管理講習

スクールオフィスの学校基本情報における児童生徒名簿、クラスの管理について学習します。名簿の登録・修正、クラス分け、就学予定者、特別支援学級の児童生徒の登録方法などを扱います。児童生徒名簿を管理している教職員が対象の講座です。

◆H25. 06. 13(木) スクールオフィス成績管理小学校通知表作成講習

スクールオフィスの成績管理サブシステムにより、通知表を作成するための設定と作成手順について学習します。通知表の作成にスクールオフィスを使用するかどうかの検討材料としてください。この講座は小学校の教職員が対象です。

◆H25. 06. 18(火) スクールオフィス成績管理中学校通知表作成講習

スクールオフィスの成績管理サブシステムにより、通知表を作成するための設定と作成手順について学習します。通知表の作成にスクールオフィスを使用するかどうかの検討材料としてください。この講座は中学校の教職員が対象です。

◆H25. 06. 20(木) インタラクティブユニットとプロジェクタの利用手順

インタラクティブユニットとプロジェクタによる簡易電子黒板および実物投影機について、不慣れな方でも最低限の利用ができるように実際の設置、プロジェクタやパソコンとの接続の手順を学習します。



◆H25. 06. 27(木) 疑問やトラブルに答える フリーQ&A その2

ICT 活用に関すること、パソコンのトラブルや疑問など、自由に相談できる機会を設けました。他の講座のような事前申し込みは不要ですが、前日までにメールや電話で相談内容をご連絡ください。

■ セキュリティ情報

セキュリティホール情報

マイクロソフトより、5月15日付で5月の定期更新として、Windowsなどの重要な更新が公開されました。最大深刻度「緊急」が2件、「重要」が8件です。まだUpdateが済んでいないようでしたら、至急Windows Updateなどを実施していただくようお願いします。

重要なお知らせ(再掲)

■ Adobe Reader や Flash Player のアップデートに注意してください

Adobe Reader や Flash Player のインストールやアップデートの際に、右のような Web ページが表示される場合は、必ずチェックを外してから処理を進めてください。



■ IE10 をインストールしないでください

現在のところ、シャットダウン時の自動更新ではインストールされませんが、Windows Update の画面を開いて更新をチェックしなすと重要な更新の1つとしてリストアップされるため、そのままアップデートを進めるとIE10が適用されてしまいます。現在、柏崎市の校務PC環境ではIE10で正常に動作しない機能があるため、一旦IE10になった場合は、IE9に戻す作業が必要です。

研修会・事業の様子

○理科主任会&理科教育講演会 4月24日（水）実施

＜理科主任会・指導＞山田 智指導主事より
「メタンハイドレートと柏崎の理科教育」



理科主任会の冒頭、柏崎市教育委員会指導主事の山田智先生のご指導の中で、時代の流れと理科教育の深いかかわりについて考える視点を投げかけられました。

「日常生活や社会を豊かにしてきた科学技術を学習の中で意図的に触れていくことをしていますか？」

理科に携わるものとしてはっとした瞬間でした。そんな視点をもって授業をつくっていききたいものです。

それから、柏崎の理科教育への二つの視点を提案されました。一つは、実用化を目指している科学技術分野で、柏崎にかかわると考えられる分野を積極的に扱うこと。もう一つは、次の学年で学ぶ内容や教材を取り入れ、学びへの期待感をもたせることです。今の学びが未来につながる、次の学習へつながると児童生徒自身が実感すれば生徒のキャリア教育にもつながる内面を育てていくこともできるのではないのでしょうか。理科主任、理科に携わるものとして、年度の始めに心のどこかに置いておくべき指導のポイントをご指導くださいました。

メタンハイドレートは、今ニュースでもよく取り上げられているものです。柏崎沖にもあるというニュース、これからのエネルギー源としての期待など未来につながる可能性を子供たちに語るトピックには最適なのではないのでしょうか。



＜理科教育講演会＞講師 左巻 健男 様

「理科好きの子どもを育てる
-魅力ある理科教育のための提言-」

～左巻健男先生来たる！
熱のこもったご講演に感激！～

理科主任会の第2部は今年度、理科教育講演会を開催しました。講師は全国的にも有名な左巻健男先生。著書も数多くあり、「りかたん」として親しまれている「理科探究」という雑誌の編集長もされています。講演はユーモアを交えながら、自分の生き立ちや理科に対する思いを語っていただきました。理科が専門でなくても授業に対する姿勢など学ぶべき点が多くある刺激的な講演会でした。

参加された先生方からは「理科の学習内容を授業で覚えて終わりではだめ。学んだことを基にして、それでまわりをもう一度見ることができるか？同じものを見ても感じることを考えることが変わってくる。そんな授業をしていきたい。」「体を通して学ぶこと、体験することの重要性を改めて感じた。」「子

供達に不思議を感じさせる、わくわくするような授業を作るには、自分が磨かれた感性や不思議を楽しむ力を持ち続けたい。」などと、元気とやる気に満ちた感想が多く寄せられました。

○小中合同 春の植物観察会 5月9日(木) 14:30～実施 夢の森公園

◇講師 相澤 陽一 様(植物研究グループ会長)

◇内容

晴天の中、夢の森公園をゆっくり歩きながら春の植物観察会を行いました。名前の由来や、生活とのかかわりを教えていただいたり、植物の見分けるポイントを学んだりしました。広い敷地の夢の森公園の中のほんの一部分の観察でしたが70種類を超える植物について勉強することができました。相澤先生の溢れ出す知識と教養を少しずつ分けていただき、有意義な観察会となりました。

今年度の植物観察会は、2回目を秋にも予定しています。今回残念ながら参加できなかった先生方は、ぜひ、秋の観察会にお越しください。



ニシキゴロモ



オオイワカガミ

→



←チゴユリ

○小中合同 野鳥観察会 5月11日(土) 6:00～実施 夢の森公園

◇講師 小林 成光 様(日本野鳥の会)

◇内容

土曜の早朝にも関わらず20名近くの参加者がありました。時々小雨が降るどんよりとしたお天気でしたが、野鳥の声に耳を傾け、自然と向き合う素敵な時間を過ごすことができました。

お天気の良い日の早朝なら30種以上の鳥に出合えるそうですが、この日は24種。先生が「今日はお天気のせいかな少ないなあ。」とおっしゃってはいましたが、これだけの種類の鳥の声を聞き、鳥の姿を見つけることができ、参加した方々も満足そうな顔でいらっしゃいました。かわいい顔の「エナガ」、「ピリリピリリ」となく面白い名前の「サンショウクイ」、ちょっと怖い顔つきの「アオサギ」など、鳥の鳴き声や名前、飛び方や生活などを教えていただきながら観察しました。参加した方からは「柏崎にもこんなに鳥がいたのですね。」「名前が分かったら、身近に感じてもっと知りたいなって気持ちになります。」などの感想をいただきました。いつも何気なく過ごしていて、見落としてしまっていることが多い自然。いい空気を吸いながら、自然に親しむ時間を過ごすことができました。



豆知識「ききなし」ってなあに？

<聞きなし例>

聞きなしとは、鳥のさえずりを意味のある言葉やフレーズに当てはめて憶えやすくしたものだそうです。耳を澄ませてみましょう。どんなさえずりが聞こえてきますか？新潟県には400種類近くの野鳥が生息しているのだそうです。時には鳥のさえずりに耳を傾け、どんな鳥が柏崎にいるのか探してみるのもいいですね。

鳥の名前	聞きなし
ホトトギス	♪特許許可局♪
メジロ	♪長兵衛、忠兵衛、長忠兵衛♪
ホオジロ	♪父っ！♪
センダイムシクイ	♪焼酎一杯ぐい〜♪

<写真出典 「日本の野鳥」(山と溪谷社)より>



センダイムシクイ



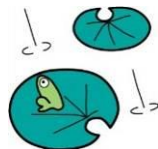
ホオジロ



ホトトギス



メジロ



～6月の予定～



○青少年のための科学の祭典 柏崎刈羽大会

◇日時 6月1日(土) 10:00～15:30

(9:50～オープニングショー、13:00～実験ショー)

◇会場 新潟工科大学

◇内容

定番のスライムだけでなく、身の回りのものでできる不思議な現象や顕微鏡で見るミクロの世界を楽しめます。児童生徒の「なんで？不思議？」をひきおこす、全部で17つのブースを用意しています。ぜひ児童生徒たちに宣伝をお願いします。また、ブーススタッフとしてご協力いただける先生方、一緒に科学の祭典を盛り上げましょう。よろしくお願いいたします。また、新潟工科大学の学祭も同日開催ですので、ご家族でお出かけください。

○小学校放射線教育研修会

◇日時 6月14日(金) 15:00～16:45

◇会場 原子力広報センター

◇講師 舟生 武史 様 (e-サイエンスコミュニケーション)

◇内容

昨年度文部科学省から配布された副読本「放射線について考えてみよう」(小学校)をもとに作成した柏崎バージョンのプレゼンを今年度はさらにバージョンアップさせて紹介します。放射線の基礎知識や利用のされ方などについて一緒に学習しながら、実際の授業イメージを作っていきます。

○上越地区合同野外研修会

◇日時 6月15日(土) 9:00～15:00 (荒天時 中止)

◇場所 斑尾高原 沼の原湿原

◇内容

上越地区理科教育センター主催の野外研修会です。どなたでも参加できます。興味のある方、気持ちのよい森林の中を歩きたい方、ぜひご参加ください。

斑尾山の北側山麓に広がる沼の原湿原は、標高870mにあります。ニッコウキスゲやカキツバタなど、湿原に分布する春の植物の観察会です。講師は上越教育大学准教授の五百川 裕様です。

○プラネタリウム研修会

◇日時 6月18日(火) 15:00～16:45

◇場所 柏崎市立博物館

◇内容

市立博物館のプラネタリウムの中で学芸員の支援のもと、教師の発問で天体授業を行う際の授業の進め方を模擬授業を通して検討します。希望があれば実際にプラネタリウム投影機の操作もしてもらいます。一緒にプラネタリウムの活用の可能性を探っていきましょう。当日は、7月の小学校4年生を対象にしたプラネタリウムでの模擬授業を行います。小学校の先生方はもちろん、中学校の先生も理科の授業に携わる先生は、ぜひご参加ください。

気孔の観察に最適

理科室に置いておくと便利な植物を紹介します。シマフムラサキツユクサとブライダルベール。二つとも切り枝から発根するので増やしやすく、栽培するのも大変ではありません。理科授業で便利だなと思うのは、気孔の観察の時に表皮をむかなくても葉のままスライドガラスの上において観察することができることです。色鮮やかで、観察しやすいこと間違いなし！

(『ゼブリナ』という品種もいいです！)

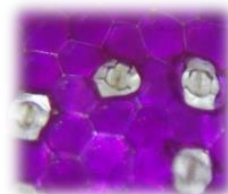
ご希望の学校に提供することもできます。ご相談ください。



ブライダルベール



シマフムラサキツユクサ



ゼブリナの気孔観察

心の窓

No.165

〒945-1355

柏崎市大字軽井川4803-2

TEL 0257(23)4591 (代表)

FAX 0257(23)4610

いろいろ体験グループ

今年度も「いろいろ体験グループ」がスタートしています。これは、当センターで実施している、発達障害傾向の児童・生徒を対象とした、ソーシャルスキル・トレーニングです。「ソーシャル」とは「社会的」「人づきあい」などを、「スキル」とは「技術」などを、それぞれ意味します。つまりソーシャルスキル・トレーニングとは、良好な人間関係をつくり保つための知識と具体的なコツの習得練習を指します。



「いろいろ体験グループ」は、前期と後期とに分かれており、毎月1回行われています。今年度は、小学生グループ3つ（低学年男子・高学年男子・女子）と中学生グループ2つ（男子女子混合）の構成となっています。各グループでは、8名前後のメンバーが様々な課題やゲームを通して、楽しみながら良好な人づきあいのコツを練習しています。例えば、人の話を最後まで聞くこと、挨拶や協力をする、自分の気持ちを言葉で表現することなどを、実際に体験しながら学んでいます。

参加児童・生徒が、より意欲をもって参加できるように、また、より人づきあいのコツを習得しやすいように、グループの中には様々な視覚化の工夫が見られます。今回は、その一部をご紹介します。まず、ポイントカードが挙げられます。各ゲームの中にはルールが決められており、そのルールを守ることができたときなどにポイントシールがもらえます。子どもたちは、シールをこのカードに貼って、貯めていきます。自分がどれだけルールを守ることができているか、目で見て分かります。次に、ホワイトボードには、その時間の予定や各ゲームのルールが簡潔に書かれています。そして、グループ全体を通して守ってほしいことは、カードにして示されます。最後に、三色のカードが子どもたちに出されることがあります。これには、良い行動にはグリーンカード、私語などの好ましくない行動にはイエローカード、衝動的なケンカなどの非常に好ましくない行動にはレッドカードが出されることによって、自分の行動の良いか・悪いかをぱっと見て自覚できる効果があります。



これからも課題やその示し方を工夫し、子どもたちがより安心して楽しく家庭生活や学校生活を送ることができるよう、応援していききたいと思います。

「いろいろ体験グループ」についてのお問い合わせは、教育センターカウンセリングルーム（32-3397）までお願いします。

（文責 相談員 植木瞳）



優雅な姿の米山を見ながら



ボールを追って

することができました。

互いにかかわり合うことができた、とても素晴らしい遠足になりました。今後も、豊かな体験活動を大切にしていきたいと考えています。

【ふれあいルーム】

春の夢の森公園探検遠足！

暖かい春の日差しの中、夢の森公園を探検しました。小道を歩いていると、目の前にギフチョウが優雅な姿を見せたり、水辺では小さなメダカが泳ぎ回る姿を見せたりしていました。木製の遊具で遊んだり、ボールやフリスビーで汗を流したりしました。

とても楽しい交流が仲よくできました。また、公園内を歩きながら、いろいろな発見も



ゆっくり、のんびり昼食を



教育相談班 6月の予定



《カウンセリングルーム》

※いろいろ体験グループ（S S T）

- 6 日（木） 16:30～17:30 小学校Aグループ
- 13 日（木） 16:30～17:30 小学校Bグループ
- 21 日（金） 16:30～17:30 小学校Cグループ
- 27 日（木） 18:30～20:00 中学校①グループ
- 28 日（金） 18:30～20:00 中学校②グループ

《ふれあいルーム》

- 4 日（火）・5 日（水） 保護者面談
- 7 日（金） 笹だんご作り
- 11 日（火） ソフィアセンター
- 14 日（金） えんま市見学
- 26 日（水） 茶道体験

《学校訪問》（5月17日現在の予定）

- 4 日（火） 15:30～ 剣野小学校
- 5 日（水） 15:30～ 半田小学校
- 6 日（木） 15:30～ 米山小学校
- 7 日（金） 15:30～ 鯨波小学校
- 11 日（火） 15:30～ 大洲小学校
- 12 日（水） 15:30～ 中通小学校

- 13 日（木） 15:30～ 枇杷島小学校
- 14 日（金） 15:30～ 日吉小学校
- 18 日（火） 15:30～ 槇原小学校
- 19 日（水） 15:30～ 二田小学校
- 20 日（水） 15:30～ 内郷小学校
- 25 日（水） 15:30～ 新道小学校
- 27 日（木） 15:30～ 荒浜小学校

6月の行事予定表

日	曜	研修・行事・会議
1	土	科: 青少年のための科学の祭典(新潟工科大学)
2	日	
3	月	育: 青少年育成委員辞令交付式(市民プラザ)
4	火	研: 美術教育講座(剣野小) 情: セキュリティ対策入門 ふ: 保護者面談
5	水	ふ: 保護者面談
6	木	情: 電子メール入門 相: SST小学Aグループ16:30-
7	金	ふ: 笹だんご作り
8	土	研: 柏崎高等学校理科数科課題研究発表会(市民プラザ)
9	日	
10	月	
11	火	研: 小学校国語デジタル教科書の使い方 ふ: ソフィアセンター
12	水	情: S0名簿管理講習
13	木	研: 食育授業講座Ⅰ 情: S0成績管理小学校通知票作成講習 相: SST小学Bグループ16:30-
14	金	研: 小/中学校社会デジタル教科書の使い方 科: 小学校放射線教育(原子力広報センター) 育: えんま市育成、 ふ: えんま市見学
15	土	育: えんま市育成
16	日	育: えんま市育成
17	月	
18	火	科: プラネタリウムの活用(柏崎市立博物館) 情: S0成績管理中学校通知票作成講習
19	水	研: 算数・数学デジタル教科書の使い方 研: 特別支援学級経営の基礎基本②
20	木	情: IUとプロジェクトの利用手順 育: 青少年育成委員会役員会(市役所101会議室)
21	金	相: SST小学Cグループ16:30- 育: 昼間育成
22	土	
23	日	
24	月	
25	火	研: 救急法 科: 中学校理科デジタル教科書の使い方
26	水	ふ: 茶道教室
27	木	研: 国語教育講座 科: 小中～高への学びのつながり(電気) 情: フリーQ&A 相: SST中学①グループ18:30-
28	金	研: 授業づくりゼミ② 研: 不登校コンサルテーション① 相: SST小学②グループ18:30-、 育: 夜間育成
29	土	育: 中PTA育成
30	日	
		研・教育研究班 科・科学技術教育 相・教育相談班 ふ・ふれあいルーム 情・情報教育研修 育・育成センター



所 員 随 想

～子どもの記憶の不思議～

教育相談班係長 小林 東

「子どもは親を選んで生まれてくる」という本を読んだ。著者の池川明氏は横浜で産婦人科クリニックを開業しながら数多くの執筆や講演や取材に応じている、胎内記憶・胎児前記憶及び中間生記憶についての研究の国内第一人者だそうだ。恥ずかしながら本書を読むまで池川氏が有名人だとは知らなかった。

池川氏によると、三人に一人の子どもには出生前記憶があり、臨床場面で子どもたちが語る内容を調査していくうちに、子どもは生まれる目的を持ち、親を選び、親を成長させるために自分で決めて生まれてくる、ということが分かってきたのだという。また、出生前記憶には、例えば、空・雲の上から見ていたとか、列に並んで母体に入るのを待っていたなど、臨死体験と同様、共通の体験状況が存在するというのも驚きだ。

生命の不思議やたましいの不思議を改めて感じて感動した。医学・心理学をはじめとする自然科学には解明できていないことがまだまだ沢山あるのだ。

中間生や過去生なるものを信じる・信じないは別として、このような子どもの無垢な語りに真剣に耳を傾け、子どもの誕生や出生の意味を福音として世の親たちに伝えている医師が居るということは確かな事実だ。子どもが語る全てのことに無批判に耳を澄ますその姿勢には、子ども相手の仕事をしている我々大人が見習うべき点が大いにありそうだ。

青少年のための 科学の祭典 2013 柏崎刈羽大会



おもしろ工作、科学実験が大集合！

期日 6月1日(土) 10:00～15:30

(実験ショー 9:50～, 13:00～)

会場 新潟工科大学(第18回工科大祭も同時開催)

☆参加無料・申込不要☆

※ デモ実験に使う廃てんぷら油を回収しています！

ペットボトル等に入れてお持ちください。

主催 柏崎市教育委員会・新潟工科大学

「青少年のための科学の祭典」柏崎刈羽大会実行委員会、公益財団法人日本科学技術振興財団・科学技術館

主管 柏崎市立教育センター

後援 刈羽村教育委員会、柏崎市刈羽郡学校教育研究会、文部科学省、全国科学館連携協議会、全国科学博物館協議会、NHK、日本物理教育学会、日本生物教育学会、日本地学教育学会、日本理科教育協会、日本基礎化学教育学会、日本科学教育学会、日本理科教育学会、一般社団法人日本地質学会、日本生物物理学会、一般社団法人日本物理学会、公益社団法人応用物理学会、公益社団法人日本化学会、一般社団法人日本機械学会、公益社団法人日本アイソトープ協会、(社)日本理科教育振興協会、一般財団法人日本私学教育研究所、公益社団法人日本植物学会、公益社団法人日本動物学会、公益社団法人日本天文学会、公益社団法人日本工学会、一般社団法人電気学会、日本エネルギー環境教育学会

お問い合わせ 柏崎市立教育センター (TEL 0257-20-0212)

教科書展示会

にお越しください

平成26年度に使用する小・中・高等学校の教科書を展示します。（小・中は平成25年度と変更ありません。）

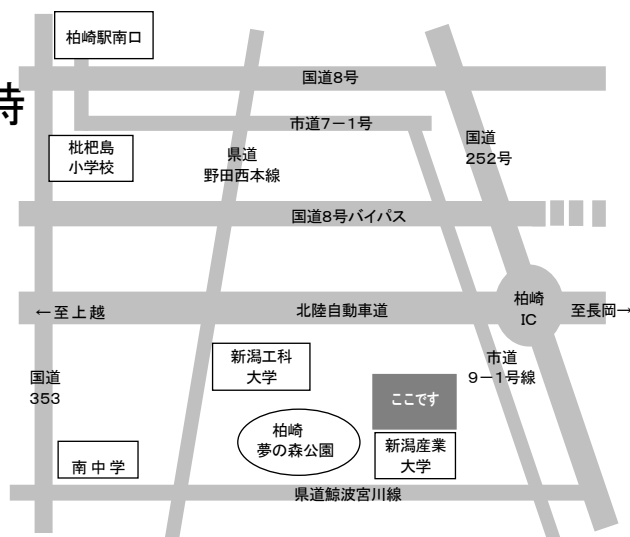
子どもたちがどんな教科書を使っているのか、多くの方から関心を持っていただきたいと思います。この機会に、ぜひ御覧ください。



日時 平成25年6月14日(金)
～7月12日(金)

- ・平日:午前9時30分～午後5時
- ・土曜:午前9時30分～正午

会場 柏崎市立教育センター
1階 教科書センター
(新潟産業大学キャンパス内)
電話:23-4591



The map shows the following features:

- Top Right:** A box containing the text "教育センター 案内図" (Education Center Map).
- Top Left:** A box labeled "柏崎駅南口" (Utsunomiya Station South Exit).
- Left Side:** A box labeled "枇杷島小学校" (Ebisu Elementary School).
- Center:** A box labeled "新潟工科大学" (Niigata Institute of Technology).
- Bottom Left:** A box labeled "南中学校" (Minami Junior High School).
- Bottom Center:** An oval labeled "柏崎・夢の森公園" (Utsunomiya Yume no Mori Park).
- Bottom Right:** A box labeled "新潟産業大学" (Niigata University of Industry), with a dark grey box above it saying "ここです" (Here it is).
- Roads:**
 - 国道8号 (National Route 8) running horizontally across the top.
 - 国道8号バイパス (National Route 8 Bypass) running horizontally below the main road.
 - 北陸自動車道 (Tohoku Expressway) running horizontally across the middle.
 - 国道353号 (National Route 353) running vertically on the left.
 - 国道252号 (National Route 252) running diagonally on the right.
 - 市道7-1号線 (Municipal Route 7-1) running horizontally above the bypass.
 - 市道9-1号線 (Municipal Route 9-1) running diagonally below the expressway.
 - 県道野田西本線 (Prefectural Route Noda-Sei Hon) running diagonally from the center towards the top right.
 - 県道鯨波宮川線 (Prefectural Route Kuma no Miya-gawa) running horizontally at the bottom.
- Other Labels:**
 - ←至上越 (Left arrow pointing to Joetsu)
 - 至長岡→ (Right arrow pointing to Nagasaki)
 - 柏崎 IC (Utsunomiya Interchange)

※車でお越しの方は、キャンパス内では徐行をお願いします。